

近現代史

2002年8月に「近現代史をもっと知りたい」を目的に本読書会が発足しました。従来から年代名(明治、大正、昭和)を冠にして、読書会の名称としていましたが、9月より通史として最後の昭和史に挑戦することから、名称を「近現代史」に変更しました。過去の読書会『近現代史』の歩みを次表に記します。

読書会『近現代史』の歩み

開始年月	読書会名称	使用図書	著者(出版社)
2002.08	この国のかたち	この国のかたち (1-6)	司馬遼太郎(文春文庫)
2009.04	明治維新	一外交官の見た明治維新(上下)	アーネスト・サトウ (岩波文庫)
2012.08	明治維新	明治天皇(1-4)	ドナルド・キーン (新潮文庫)
2018.06	大正昭和史	国際化時代「大正日本」	櫻井良樹(吉川弘文館)
2018.12	大正昭和史	昭和史 1926 - 1945	半藤一利(平凡社)
2020.09	近現代史	占領と改革	雨宮昭一(岩波新書)

以上、約18年かけて近現代史を学んできました。上表の一番下段に記す『占領と改革』は本年9月から開始、終了は2021年7月を予定しております。これを以て通史としては終了とし、以降については別の角度から近現代史の参考図書を選択していく考えです。

右に本年9月以降に使用する参考図書を示します。

本テキストの内容は下記に示す通りです。戦後処理の集大成の歴史、更に我々が生きていた身近な時代でもあり、興味深く大いに期待しております。

本テキストの章別タイトルは以下の通りです。

- ①第一章 戦後国際体制の形成と日本の敗戦
- ②第二章 非軍事化と民主化
- ③第三章 新憲法の形成へ
- ④第四章 政党勢力と大衆運動
- ⑤第五章 中道内閣の展開と自由主義派の結束
- ⑥第六章 戦後体制の形成



以上